

気密・断熱性で大きく変わる住まいの快適性!

5つのゾーンの違いをご体感ください。

YKK AP
プロ向け
体感ショールーム
(品川)

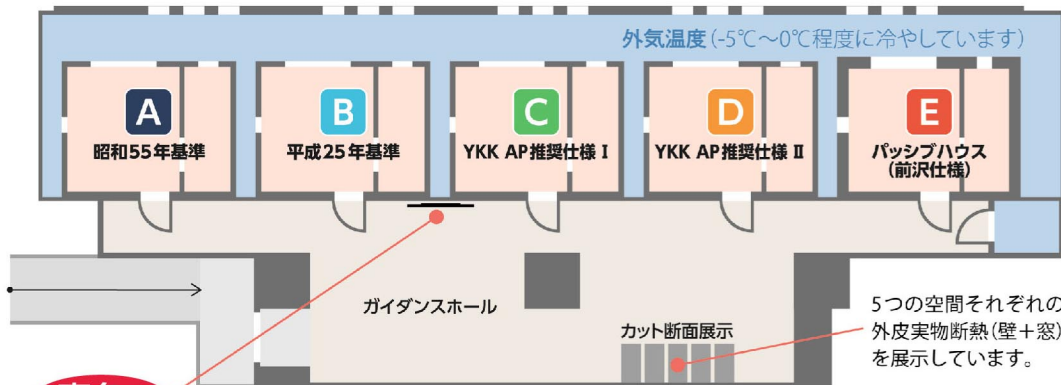
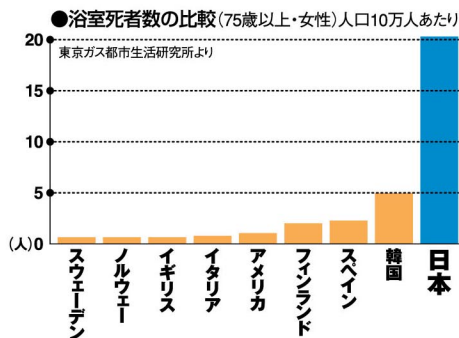


真冬の住まいの性能を徹底比較!



寒い家は危険! 暖かい家は寿命を延ばす!

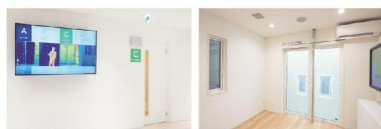
住宅内で亡くなる人は、交通事故の約4倍。安全なはずの家が実は危険に満ちているという驚きの事実をご存知でしょうか。その約半数が浴室・トイレでの事故。スウェーデンやノルウェーと比較して、そのリスクは数十倍にもなります。先進国で唯一住宅の断熱基準がない日本では、住宅の8割が必要な断熱レベルに達していないといわれ、寒い家(断熱不足による室温低下)が喘息、アトピー、のどの痛み、冷え性、循環器障害など多くの病気の原因になっています。さらに睡眠、免疫、脳年齢、老化にも影響し、様々な病気のリスクを高めることがわかっています。つまり、健康的に暮らすためには、住まいの断熱性を高めて、部屋間の温度差をなくす「室温のバリアフリー」が不可欠です。若々しく活動的なアンチエイジングもまずは住まいから…。暮らし始めてから後悔しないためにも、「しっかりとした断熱性能」を確保することが住まいづくりの基本です。



真冬の

性能の違いが見える化

体感ルームでは、空間温度・表面温度(窓・壁・床)・相対湿度などの実測値を見える化することで、窓の性能の違いをわかりやすくご紹介しています。



- A 昭和55年基準 アルミサッシ、単板ガラス
- B 平成25年基準 アルミサッシ、一般複層ガラス
- C YKK AP推奨仕様Ⅰ 樹脂複合窓、LowE複層
- D YKK AP推奨仕様Ⅱ 樹脂窓、LowE複層
- E パッシブハウス(前沢仕様) 樹脂窓、LowEトリプル複層